| 公益社団法人日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会<br>2026 年度 基本方針 | |
|---|---|
| リーダーシップ開発委員会　委員長　阿久津　秀文 | |
| 現状把握 | 茨城県内のメンバーにおいて、アカデミーメンバーの割合が 4 割を超えており、また、入会から卒業までの在籍期間が短くなる現状があります。アカデミーメンバーは、青年会議所の理念や運営の流れなどをまだ十分に理解していない段階であり、組織としての一体感や行動の質が安定しづらく、計画や実行においてミスや混乱が発生しやすい傾向があり、青年会議所のメンバーとしての経験不足から生じることがあります。また、青年会議所の運動を十分に理解し、展開することなく青年会議所を去ってしまっています。組織として培ってきた青年会議所の精神性や知識が継承され続けるよう、アカデミーメンバーの目的意識を向上させ、自分自身の成長と地域や社会への貢献を促していくことが重要です。そして、アカデミーメンバーの割合の高さから、より LOM の中枢を担う委員長から副理事長のメンバーに対しての意識醸成と組織運営の学びの機会が改めて問われています。また、出向の機会に対して課題を浮き彫りにし、LOM に還元できる広域的視野をもった人財育成が重要です。 |
| 委員会<br>設置背景 | 青年会議所のメンバーは、社会課題を変えるリーダーシップを育むことが求められており、持続可能なまちづくりに貢献できる人財の成長が必要とされています。 |
| 委員会<br>概要 | 1.【ブロ連】ブロックアカデミーにおける JAYCEE 育成カリキュラムの運用支援 |
| | それぞれの LOM が直面している問題を解決し、自信の成長に必要なスキルや知識を身につけられるようにするため、アカデミーメンバーに日本青年会議所の JC プログラム委員会が推奨しているプログラムを受講していただき、課題に対応できる知識や青年会議所の運動に理解を持ちつつ LOM の課題解決につながります。 |
| | 2.県内 LOM のアカデミーメンバーを対象にした研修の実施 |
| | 青年会議所に関する基礎知識が少ないアカデミーメンバーに、LOM のメンバーとしての知識や青年会議所の目的を共有するために、LOM のなかでも理事を目指す人財へと意識改革するとともに、苦難を乗り越えた同志との絆が生まれ、将来的な財産につながるアカデミー合宿を開催することで、地域の社会課題解決に向けて行動ができる人財が創出されます。 |
| | 3. LOM の中枢を担うメンバーを対象にした研修の実施 |
| | 組織を牽引していく LOM の委員長から副理事長までの中枢メンバーの能力を向上するために、適切な組織運営方法や過去を学ぶ機会を提供することで、中枢メンバーとしての当事者意識や知識を持ち、意識向上に貢献いたします。 |
| | 4.茨城ブロック協議会出向者メンバーを対象にした研修の実施 |
| | VC 及び幹事団として、1 年間にわたり委員会メンバーとともに事業を推進してきた出向者だからこそ感じ る、青年会議所の運動におけるリアルな課題や悩みを解決するために、組織運営やリーダーシップに関する実践的 な知識を深めつつ次のステップとなる役職に必要な視点や能力の習得をすることで、単に知識を得るだ けでなく、いつかは自分も挑戦したいと思えるような動機づけにつながる内容とし、LOM メンバー向けの 一般的なスキル提供とは異なり、出向という立場で広域の視点を持ち、リーダーとして次のステージを目指すための成長機会となります。 |

| | |
|---|---|
| 委員会による<br>LOM 支援の<br>実施内容 | ・アカデミーメンバーの青年会議所メンバーとしての自覚を持ち地域の社会課題解決ができるような人財を育成します。<br>・LOM の中枢を担う方の組織運営方法などを学び、適切でより強固な組織運営ができる育成をします。<br>・育成プログラムを受けた方が、LOM 以外のもっと広い視野で社会課題解決にむけた議論や行動ができるようにします。 |
| 1 年間の成果 | 各 LOM のアカデミーに対する課題の解決の一助となり、社会解決に向けて LOM の行動力が大きくなります。また、アカデミーメンバーが青年会議所のメンバーとして必要な知識が増え、自信を持って行動できる人財が増えることで LOM 内でも委員長以上の理事を目指す人財が増えます。さらに、青年会議所メンバーとしての目的意識が芽生え、当事者意識を持って運動に参画でき、地域の課題を的確に捉え、最大限の成果を生む人財になります。 |